

「福祉系高校修学資金貸付申請書等」チェックリスト

(貸付申請者・福祉系高校で各々書類等をチェックし、本用紙をA4版表裏1枚に印刷し提出願います。)

(表面)

令和7年度用

貸付申請者

福祉系高校名

福祉系高校	貸付申請者	【提出書類等】	【留意事項】
☐	☐	『修学資金貸付申請書』 ※ A4判の表裏1枚に印刷し提出する。	貸付申請者が自筆で表・裏面全てを記入する。 申請金額欄は、全て訂正不可。 申請者印は、認印で可。 訂正、修正時(申請金額欄以外)は、二重線で訂正し認印を押印する。 消えるボールペンや修正液等は使用不可。
☐	☐	【表面】 (申請日)	募集期間の令和7年 月 日から 月 日までの日付を記入する。
☐	☐	※貸付番号及び貸付開始年月	空欄のままで可。
☐	☐	氏名・フリガナ・住所	住所はアパート・部屋番号等まで記入。
☐	☐	卒業後の就労先	(例)茨城県内の介護施設
☐	☐	貸付申請期間	(例)1年生の場合…令和7年4月 日～令和10年3月 日(36箇月) (例)2年生の場合…令和7年4月 日～令和 9年3月 日(24箇月) (例)3年生の場合…令和7年4月 日～令和 8年3月 日(12箇月)
☐	☐	申請金額	① 修学準備金 30,000円 ② 介護実習費 90,000円 ③ 国家試験受験対策費 120,000円 ④ 就職準備金 200,000円 総額 440,000円 (限度額440,000円以内)
☐	☐	* 修学期間中に①から④の貸付の目的に 充当する金額を記入してください。	
☐	☐	①については、1年生の時のみ申請可能です。2、3年生は0円を記入してください。	①修学準備金…30,000円以内《入学時(1年生)の申請に限ります》 ・介護実習の際に必要な実習着等、福祉系高校特有の修学をするにあたって必要な準備経費に充当するもの
☐	☐	②(1年生の申請時) 30,000円×3年度分＝ 90,000円 (2年生の申請時) 30,000円×2年度分＝ 60,000円 (3年生の申請時) 30,000円×1年度分＝30,000円 上記金額が各々の限度額になります。	②介護実習費…90,000円以内《1年度当たり年額30,000円以内 ×3年度分＝90,000円》 ・介護実習を行う際に必要な交通費、保険料、教材費等に充当するもの
☐	☐	③についても、②の計算式(例)を参考にしてください。	③国家試験受験対策費…120,000円以内《1年度当たり年額40,000円 以内×3年度分＝120,000円》 ・福祉系高校が通常の教育課程とは別に実施する又は民間機関等が実施する介護福祉士の国家試験受験対策講座の受講費、模擬試験の受験料又は参考図書等の購入費用等の経費に充当するもの
☐	☐	④は、全ての申請者が申請できます。	④就職準備金…200,000円以内《卒業する年度に交付する貸付金です》 ・福祉系高校を卒業後、就職する際に必要な経費に充当するもの
☐	☐	返還時期	分割返還の場合、貸付申請期間の2倍の期間で返還可能。 (例)1年生の場合…令和10年4月～令和16年3月 (例)2年生の場合…令和 9年4月～令和13年3月 (例)3年生の場合…令和 8年4月～令和10年3月
☐	☐	返還方法	返還となった際の希望する項目に○印を付ける。
☐	☐	他の公的給付・貸付又は修学資金等申請 借用状況 * □には✓を入れ、申請中、借用中の場合は名称を記載する。	他の都道府県による福祉系高校修学資金を申請・借用している場合、また、 用途(利用目的)が重複する公的な給付・貸付事業を申請・借用している 場合は、記載内容等により、本貸付制度の利用ができなかったり、申請金額 を調整する場合があります。

(裏面)

福祉系高校	貸付申請者	【提出書類等】	【留意事項】
☐	☐	【裏面】 借入理由	《申請者本人が、自身の言葉で具体的に記述してください。》
☐	☐	申請者の家族の状況	住民票謄本記載の家族全員分記入。続柄は申請者からみた関係。 前年の年収記入(給与所得者は、課税証明書の給与収入金額を記入)。
☐	☐	連帯保証人	申請者が <u>未成年</u> の場合…親権者又は未成年後見人 * 未成年…申請日の年の4月1日現在18歳未満 年収記入(給与所得者は課税証明書の給与収入金額を記入)。
☐	☐	親権者又は未成年後見人	申請者が <u>未成年</u> の場合に、申請者が記入

福祉系高校	貸付申請者	【提出書類等】	【留意事項】
☐	☐	住民票謄本(申請者を含む全世帯分)	《申請者と連帯保証人が同一世帯の場合》世帯主・続柄記載のあるもの。 マイナンバー、本籍地記載不要。発行から3か月以内のもの。 《連帯保証人が別世帯の場合》連帯保証人の <u>住民票抄本</u> も追加添付 マイナンバー、本籍地記載不要。発行から3か月以内のもの。
☐	☐	市町村県民税課税証明書 《所得の種類・金額、扶養控除(親族)数、各控除額が記載された直近の分》	連帯保証人を含め18歳以上の家族全員分 市町村県民税が0円の方は、非課税証明書を取得・提出してください。 未成年の申請者は、提出不要。但し、連帯保証人が非課税証明書提出の場合は、提出が必要。 新たな連帯保証人を追加する時も提出が必要。
☐	☐	福祉系高校の長の推薦書	第2号様式
☐	☐	直近の学業成績表	直近に卒業した中学校、又は直近の高校の学業成績表。(各学校所定の様式)
☐	☐	福祉系高校修学資金貸付事業における個人情報情報の取扱いについて	申請者、連帯保証人が <u>各々自筆</u> で記入し、 <u>各々の別の認印</u> 日付は、申請者、連帯保証人共に『修学資金貸付申請書』の申請日と同じ。
☐	☐	貸付決定後に必要な書類等 ※申請時に提出するものではありません。	申請者 ☐ 振込口座確認書類(申請者名義)…金融機関通帳の写し等 ☐ 印鑑登録証明書…発行から3か月以内。 * 申請者の申請日の年の4月1日現在で18歳未満の場合不要 ☐ 収入印紙…(貸付決定した金額が1万円以上10万円以下の時 200円 10万円を超え44万円以下の時 400円) * 収入印紙はコンビニエンスストア、郵便局で購入できます。 ☐ 実印(印鑑登録証明書の届出印) * <u>18歳未満の場合は認印</u> 連帯保証人 ☐ 印鑑登録証明書…発行から3か月以内。 ☐ 実印(印鑑登録証明書の届出印)